

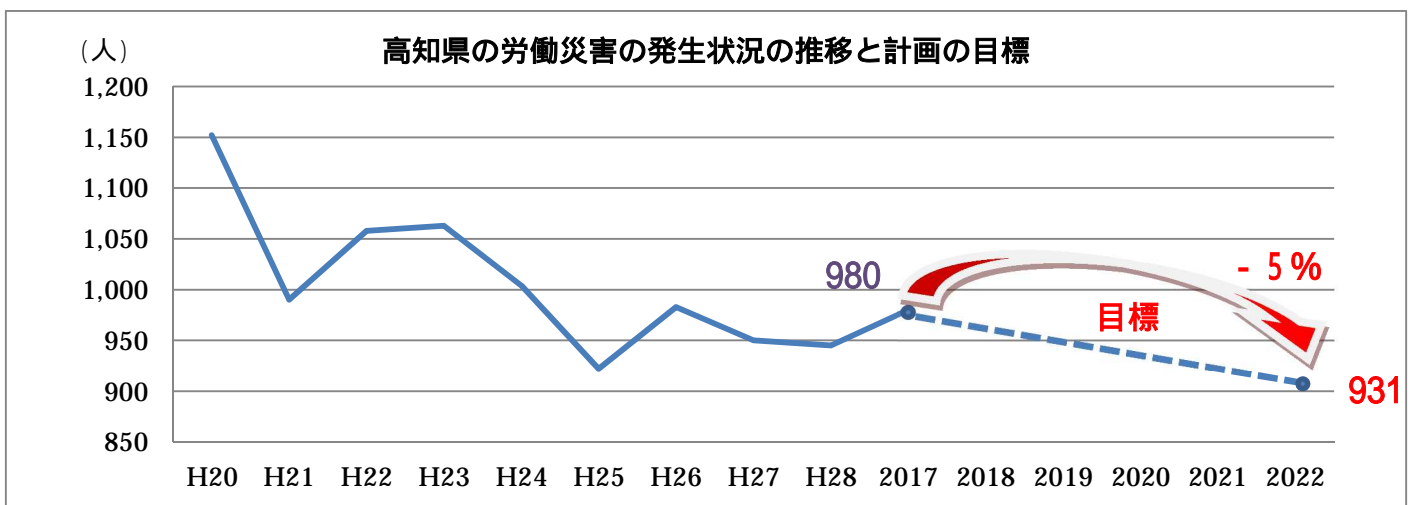
高知労働局 第13次労働災害防止計画

(2018年度～2022年度)

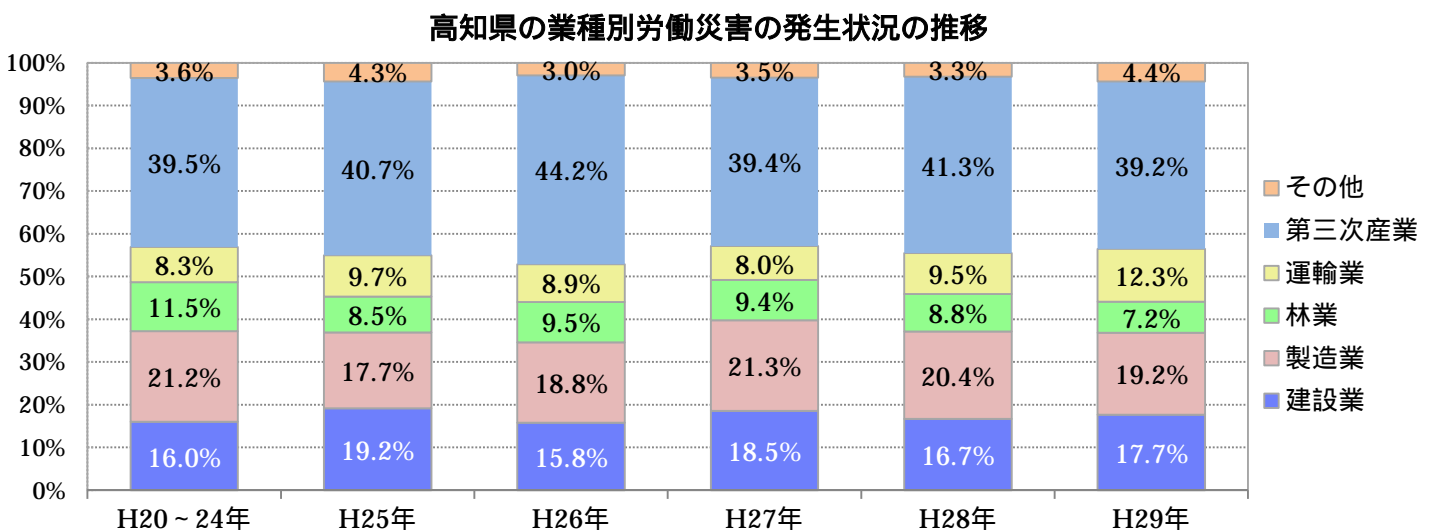
労働災害を少しでも減らし、安心して健康に働くことができる職場の実現に向けて

計画の主な目標

- 死亡者数を2017年と比較して、2022年までに15%以上減少させる
- 死傷者数を2017年と比較して、2022年までに5%以上減少させる
- ストレスチェック結果を集団分析した事業場の割合を、2022年までに80%以上とする



| | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 |
|------|-------|-----|-------|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 死亡者数 | 6 | 14 | 9 | 6 | 14 | 12 | 11 | 5 | 9 | 8 |
| 死傷者数 | 1,152 | 990 | 1,058 | 1,063 | 1,004 | 922 | 983 | 950 | 945 | 980 |



(出典：労働者死傷病報告)

死亡災害の撲滅を目指した重点業種への対策

建設業対策

- ▶足場の設置及び足場、はしご、屋根等からの墜落・転落災害防止対策の推進
- ▶高所作業時における墜落防止保護具の構造を原則としてフルハーネス型とする
- ▶危険・有害業務への有資格者の配置、安全装置の有効保持、立入禁止措置の徹底や誘導者の配置の指導
- ▶建設業労働災害防止協会高知県支部、発注機関と連携を図り、労働災害防止活動の促進

製造業対策

- ▶はさまれ・巻き込まれ、転倒、墜落・転落災害の防止対策の推進
- ▶機械災害が発生した事業場における原因究明と機械設備の本質安全化
- ▶4 S活動（整理、整頓、清潔、清掃）の普及促進
- ▶高知県労働基準協会連合会、各地区労働基準協会等と連携を図り、労働災害防止活動の促進

林業対策

- ▶安全な伐倒方法やかかり木処理の方法の普及、下肢を保護する防護衣の着用の徹底、安全教育の充実等必要な安全対策の推進
- ▶四国森林管理局、高知県との連携を図り、林材業労働災害防止協会高知県支部、各地区の森林組合等における活動に対する指導援助により、自主的な労働災害防止活動の促進

災害の件数が増加傾向にある又は減少が認められない業種等への対策

第三次産業対策

- ▶小売業、飲食店、社会福祉施設について、事業場単位の安全衛生管理に加え、企業単位での安全衛生管理の取組の推進
- ▶経営トップに対する意識啓発や「危険の見える化」等による危険感受性の向上
- ▶小売業、飲食店について、非正規雇用労働者等に対する雇入れ時の安全衛生教育の徹底

陸上貨物運送事業対策

- ▶荷役作業における安全対策ガイドラインの周知・徹底
- ▶荷役作業の墜落・転落防止対策、荷の運搬中の労働災害防止対策の充実・強化
- ▶荷主等が管理する施設での労働災害防止対策
- ▶陸上貨物運送事業労働災害防止協会高知県支部と連携を図り、労働災害防止活動の促進

転倒災害の防止

- ▶4 S（整理、整頓、清掃、清潔）、注意喚起を促すステッカーの掲示等による「危険の見える化」、作業内容に適した防滑靴の着用等の取組の促進

腰痛の予防

- ▶安全衛生教育の確実な実施及び介護労働者の身体的負担軽減を図る介護機器の導入促進

過労死等の防止等の労働者の健康確保対策

職場におけるメンタルヘルス対策

- ▶メンタルヘルス不調を未然に防止するための取組の推進
- ▶ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善の取組の推進
- ▶高知産業保健総合支援センター、高知県等と協力し、メンタルヘルス対策の取組の促進

高知労働局第13次労働災害防止計画の内容は、高知労働局ホームページでご覧いただけます

| | | |
|---------|-----------------------------|---------------------------|
| お問い合わせ先 | 高知労働局(健康安全課) (088-885-6023) | |
| | 高知労働基準監督署 (088-885-6031) | 四万十労働基準監督署 (0880-35-3148) |
| | 須崎労働基準監督署 (0889-42-1866) | 安芸労働基準監督署 (0887-35-2128) |